

令和4年度
授業改善推進プラン
課題分析と授業改善策

【国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保体・技家】

指導方法の課題分析と授業改善策

国語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとのねらいや目標を明確にし、学習内容に対する興味・関心を高めること。 ②文章の種類に応じた読みの方法を指導すること。 ③漢字や文法事項の定着を図り、語彙力を増やす指導をすること。 ④表現活動(スピーチ、課題作文など)の機会を多く設けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の始めの目標提示や、評価の方法を明らかにして還元し、意欲的に取り組めるようにする。 ②構成や描写に注目して読み取る方法を身に付けさせる。 ③漢字や文法については、ワークやプリントを用いて繰り返し取り組みさせる。また、国語辞典を活用し、辞書どおりでなく文脈の中での意味を捉えられるようにする。 ④自分の考えを発表したり交換したり、評価したりする場面を作り、さまざまな意見や考えがあることを学ばせる。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約の仕方、調べ方を具体的に学び、情報活用能力を高める。 ・漢字は繰り返し練習ができるように小テストやプリント学習を工夫する。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章に触れる機会として、テーマ性のある文学作品を読み、他の人の感じ方や読み方から自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとの目標を明確に示し、学習内容に対する関心・意欲を高めること。 ②表現活動(スピーチ、課題作文等)の機会を多く設けること。 ③語彙を増やし、読解や表現に生かすことができるようにすること。 ④漢字や文法事項などの定着を図る指導をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標と学習内容とのつながりが理解できるように、意識して授業を行う。また、単元の終わりの評価が学習意欲につながるよう工夫する。 ②話し合いや発表を通して、多様な意見に触れたり、評価したりすることで考えを深められるようにする。 ③国語辞典を活用し、文脈上の意味を正しく捉えられるようにする。 ④課題や小テストの実施を通して、自らも定着の程度を確認できるようにする。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書記録や端厳終わりの課題を通して、考えを表現することに慣れさせる。 ・小テスト、ワークシート、タブレット等を活用し、繰り返し練習をさせる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章に触れる機会として、テーマ性のある文学作品を読むことや新聞のコラム等を読むことにより、他の人の考えや作品の良い点を挙げ、自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとの学習目標を明確にし、何を学ぶか、どんな力をつけたらよいかを自覚することにより、学習内容に対する意欲をさらに高めること。 ②表現活動(スピーチ・課題作文)の機会を多く設けること。 ③多様なものの見方・考え方を知り、自らの考えを深められるような指導場面を工夫すること。 ④語彙を増やし、読解や表現に生かすことができるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①人物設定や表現の工夫、見出しの付け方などに注意して文章を読み取る方法を学ばせる。 ②授業の様々な場面において、話したり聞いたり、書いたりする場面を多く設けるようにする。感染予防対策を講じながら、相互交流を通し、自らの考えを深めたり、修正したりすることができるよう指導する。 ③国語辞典を積極的に活用し、文脈での意味を正確に捉えさせ、語彙を豊かにする。 ④課題や小テストの実施を通して、自らも定着の程度を確認できるようにする。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストや課題プリントを活用し、漢字や文法事項の反復練習をさせ、定着を図る。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章に触れる機会として、テーマ性のある文学作品や新聞を読む活動を設け、他の人の考えや作品の良い点を自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。

社会

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対する興味・関心を高めること。 ②基本的な学習内容(特に知識・理解)を定着させること。 ③思考力、表現力、資料の活用能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 ⑤授業規律を保つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実物投影機を活用し、絵や写真や身近な資料を取り入れる。礼法など授業規律を整え、みんなまで学び合うことの大切さを伝えていく。 ②基本的な内容について、具体的な例や数字などを使って丁寧に説明し、ワークブックなどにより反復させる。 ③ワークシートに資料活用、原因や背景の考察などの活動を取り入れ、節の「振り返り」にも分かったことや考えたことを文章で表現させる。 ④最低限身に付けるべき知識や技能を明確に示して習得させる。意欲的な生徒には、発展的な内容を提示するとともに、段階的に助け合う活動を行うことで思考力・表現力を鍛え、生徒全体の底上げを図る。 ⑤一人一人に、より丁寧に目を配り、時間・持ち物等声掛けなどを行う。 	<p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着状態を定期テスト等で確認し弱点を補う。基礎的事象の説明や確認を丁寧にを行う。発展的な知識も適宜取り入れる。 <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る視点や考察の仕方を示して、慣れさせる。 ・単元ごとに復習のプリントを行わせ、知識の定着を図る。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対して主体的に課題を把握し解決への見通しをもつこと。 ②基本的な学習内容を定着させること。 ③思考力、判断力、表現力の能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分で教科書等の資料を読み、ワークシートに工夫して記入、まとめさせる時間をとる。 ②基本的な内容について、ICT教材や身近な事象、具体的な例を使って丁寧に説明し、理解させる。 ③振り返りシートを通して原因や背景の考察などの活動を取り入れ、分かったことや考えたことを文章で表現させる。気付いたことや考えたことを発表させたりする。教科書を因果関係に着目して熟読することを薦める。 ④振り返りシートの添削を通して一人一人の習得状況を把握し、学力の低い生徒に対しては、より丁寧に目を配り、声掛けなどを行う。 ・最低限身に付けるべき知識や技能を明確に示して習得させるとともに、話し合いの場を設けるなど、生徒間での学び合いや深め合いを行わせる。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内での振り返り学習やワークブックなどを活用して、既習内容を繰り返し確認させる <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の2度読みを薦め1回目は流して概略を掴み、2回目の振り返り時には文脈から関連性を整理しながら読ませる。 ・「社会的な見方や考え方」が深まるように様々な資料や社会のニュースを授業内で提示し、関心をもたせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対して主体的に学習に取り組む態度を育成すること。 ②基本的な学習内容から受験に備えた知識まで、しっかりと定着させること。 ③思考力、判断力、表現力の能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 ⑤社会参画の態度を養わせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な内容について、ICT教材や身近な事象、具体的な例を使って丁寧に説明し、理解させる。人権・政治・経済などと、身近な課題とのつながりを考えさせる。既習事項との関連に気付かせる。 ②資料活用、原因や背景の考察などの活動を取り入れ、分かったことや考えたことを文章で表現させる。授業の内容をワークシートにまとめて、気付いたことや考えたことを発表させたりする。 ③「単元別ワークシート」の添削を通して一人一人の主体的に学習に取り組む態度を把握し、生徒の粘り強く学習に取り組む態度を育成する。 ④授業中の観察とともに、ワークブックや単元別テストなども利用して生徒一人一人の習得状況を知り、以後の授業に反映させる。また、グループ活動で思考力・判断力・表現力を鍛え、理解しにくい生徒を支援することで全体の底上げを図る。 ⑤最低限身に付けるべき知識や技能を明確に示して習得させるとともに、話し合いの場を設けるなど、生徒間での学び合いや深め合いを行わせる。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着状態を定期考査等で確認し弱点を補う。「解き直しノート」を作成するようにしている。基礎的事象の説明や確認を丁寧にを行う。発展的な内容も適宜取り入れる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な見方や考え方」が深まるように様々な資料を授業内で提示していく。

数学

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり理解できるように、個々の生徒の特性に応じて繰り返し演習を進めていく必要がある。</p> <p>②発展コースではできるだけ多くの応用問題に取り組みさせる必要がある。</p> <p>③意見を交流し、考えを練り上げる場面を設ける必要がある。</p>	<p>①単元ごとに基本問題の演習を問題集やプリントで計画的に進め、繰り返し指導を継続する。また、習熟度別少人数クラスの特性を生かし、発展的な問題を取り入れ、応用力も高めていく。</p> <p>②ワークシートや問題集で繰り返し取り組むことができる時間を確保していく。</p> <p>③一つの課題に対して、意見を全体で共有し、考えを練り上げる場面を設けていく。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本問題の課題プリントなどを計画的に行う。また、少人数の特性を生かし個々に対応していく。 家庭学習でワークの活用や、「計画・テスト・分析・練習」のサイクルを意識した学習を実践し、自ら学習を進める力を育む。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数学的な見方や考え方」が深まる問題を計画的に取り入れていく。
2年	<p>①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり定着できるように、個々の生徒の特性に応じて繰り返し演習を進めていく必要がある。</p> <p>②論理的に考察し、考えを相手に伝える力の向上を目指し、グループワークなどに取り組ませる必要がある。</p>	<p>①基礎・基本の力が定着するように、基本問題の演習を問題集や復習テストで計画的に進めていく。また、習熟度別少人数クラスの特性を生かし、基礎力の定着を図る。</p> <p>②1つの解答方法だけでなく、多様な考え方があることを理解させ、グループで話し合う時間を授業内で作る。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少人数クラスの特性を生かし、個々に対応していく。補習や補講などを定期的の実施していく。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数学的な見方や考え方」が深まる問題を授業内に計画的に取り入れていく。
3年	<p>①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり理解できるように、個々の生徒の特性に応じて繰り返し演習を進める必要がある。</p> <p>②発展コースではできるだけ多くの応用問題・過去問に取り組みさせる必要がある。</p> <p>③意見を交流し、考えを練り上げる場面を設ける必要がある。</p>	<p>①基礎・基本の力が定着するように、基本問題の演習を問題集やプリントなどを活用して計画的に進めていく。また、習熟度別少人数クラスの特性を生かし、基礎力の定着を図る。</p> <p>②ワークシートや問題集を解く時間を確保していく。</p> <p>③感染症対策を講じながら、意見を全体で共有し、考えを練り上げる場面を設けていく。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本問題の課題プリントなどを計画的に行う。また、習熟度別少人数クラスの特性を生かし個々に対応していく。 家庭学習でワークの活用や、「計画・テスト・分析・練習」のサイクルを意識した学習を実践し、自ら学習を進める力を育む。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「思考力・判断力・表現力」が深まる問題を計画的に取り入れていく。

理科

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①授業中に、自分で考えたり、友達と意見を出し合ったりして取り組む場面を設定する必要がある。</p> <p>②できた、わかったと実感できるように、インプットしたことをアウトプットする機会を設定する必要がある。</p>	<p>①課題(疑問や発問)に対する予想を考える時間の確保および意見を共有する場を設定する。</p> <p>②演習の機会を増やす。授業のはじめに復習し、授業の終わりには振り返る。また単元の終わりに学習内容をまとめたレポートを提出する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見をまとめ提出する機会をつくる。 ・演習を繰り返しできるようにする。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活との関連を意識させるための学習を行う。 ・映像を活用し、授業内容の理解を促す。
2年	<p>①授業中で意見交換する時間を確保しているが、活発な活動ができていないと難しい。</p> <p>②授業中の説明が、生徒に分かりやすいものになっていない部分がある。</p>	<p>①活発にならない原因として、設問が難しいことが考えられる。ヒントを与え、聞き方をよりスモールステップにする等の工夫を行う。</p> <p>②①同様、スモールステップでの授業の進行を心掛け、疑問点を取りこぼさないよう、生徒の理解度を確認しながら進める。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポートを用いて、結果を分かりやすくまとめたり、結果について考察を深めたりする機会を設ける。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の応用課題なども積極的に取り組み、知識を元に考えを深める姿勢を涵養する。
3年	<p>①授業中に、自分で考えたり、友達と意見を出し合ったりする学習活動に取り組む場面を設定する必要がある。</p> <p>②第1～3学年の観察・実験で使用する器具の扱い方について、再度確認する必要性を感じる。</p>	<p>①課題に対する予想や実験・観察の結果、考察内容など、自分の考えを伝え合う場面を多く設け、言語活動の充実を図る。</p> <p>②実演を通して観察・実験の操作を指導し、注意点や操作の意味について、理由を確認させる時間を確保する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究プリントに取り組ませることで、課題を解決する力を養う。 ・振り返りプリントにより、自らの学習を調整していく力を身に付けさせる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して解決する方法を立案する活動や探究の過程を振り返る活動を取り入れる。

音楽

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①鑑賞において、楽曲を理解し、イメージや感想について他者に伝える力をつけさせる工夫が必要である。</p> <p>②実技において、基礎的な技能を身に付けさせるための個別指導の工夫が必要である。</p> <p>③3年ぶりの合唱コンクール開催である。全校生徒も音楽科教員も誰も経験したことのない光三中の合唱コンクールだ。変声期真ただ中で上手く声の出ない生徒、コロナで歌い方を忘れた生徒も多いが、今できる精一杯で望ませることが必要である。</p> <p>*コロナウイルスの関係で、歌唱や器楽(特にリコーダー)において、大きな制限が設けられているため、できる範囲で行う。</p>	<p>①ICT教材やワークシート等を使って、楽曲を理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>②様々な活動で、感想を伝える場を作り、積極的に自分の言葉で伝えようとする意識を育てる。</p> <p>③合唱コンクールに向けては、3年ぶりとなる歌の歌い方を、既習曲の他、基礎の発声練習等からゆっくり確認していくようにする。</p> <p>*コロナウイルス対策をとりながら、できる範囲で実技を行う。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等を使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 授業内で個別指導を行う。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実技において、リーダーを育て、自主的に取り組み、教え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。 特に、合唱コンクールについては、実行委員・指揮者・伴奏者・パートリーダー等のリーダーを中心に活動できるようしていく。
2年	<p>①鑑賞において、楽曲を理解し、イメージや感想について他者に伝える力を高める工夫が必要である。</p> <p>②実技において、引き続き、技能が向上するよう、個別指導の工夫が必要である。</p> <p>③3年ぶりの合唱コンクール開催である。全校生徒も音楽科教員も誰も経験したことのない光三中の合唱コンクールだ。変声期真ただ中で上手く声の出ない生徒、コロナで歌い方を忘れた生徒も多いが、今できる精一杯で望ませることが必要である。</p> <p>*コロナウイルスの関係で、歌唱や器楽(特にリコーダー)において、大きな制限が設けられているため、できる範囲で行う。</p>	<p>①ICT教材やワークシート等を使って、楽曲を理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>②様々な活動で、感想を伝える場を作り、積極的に自分の言葉で伝える力を高める。</p> <p>③合唱コンクールに向けては、3年ぶりとなる歌の歌い方を、既習曲の他、基礎の発声練習等からゆっくり確認していくようにする。</p> <p>*コロナウイルス対策をとりながら、できる範囲で実技を行う。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等を使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 授業内で個別指導を行う。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実技において、リーダーを育て自主的に取り組み、教え合い伝え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。 特に、合唱コンクールについては、実行委員・指揮者・伴奏者・パートリーダー等のリーダーを中心に活動できるようしていく。
3年	<p>①鑑賞において、楽曲を理解し、イメージや感想について言葉を通して、他者に伝える力を深める工夫が必要である。</p> <p>②実技において、引き続き、技能が向上するよう、個別指導の工夫が必要である。</p> <p>③3年ぶりの合唱コンクール開催である。全校生徒も音楽科教員も誰も経験したことのない光三中の合唱コンクールだ。変声期真ただ中で上手く声の出ない生徒、コロナで歌い方を忘れた生徒も多いが、今できる精一杯で望ませることが必要である。</p> <p>*コロナウイルスの関係で、歌唱や器楽(特にリコーダー)において、大きな制限が設けられているため、できる範囲で行う。</p>	<p>①ICT教材やワークシート等を使って、楽曲を理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>②様々な活動で、感想を伝える場を作り、積極的に自分の言葉で伝える力を深める。</p> <p>③合唱コンクールに向けては、3年ぶりとなる歌の歌い方を、既習曲の他、基礎の発声練習等からゆっくり確認していくようにする。</p> <p>*コロナウイルス対策をとりながら、できる範囲で実技を行う。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等を使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 授業内で個別指導を行う。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実技において、リーダーを育て、自主的に取り組み、教え合い伝え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。 特に、合唱コンクールについては、実行委員・指揮者・伴奏者・パートリーダー等のリーダーを中心に活動できるようしていく。

美術

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①授業に対する関心、意欲は高いが、主体的に取り組むための理解を促す工夫が必要である。</p> <p>②発想や構想を表現するために必要な技術を身に付ける指導が必要である。</p>	<p>①授業内の流れについて課題の目標・準備する道具・流れ・作業について毎回板書し、導入時に確認を行う。</p> <p>②使用する道具の使い方について丁寧に説明する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業や流れの確認ができるワークシートを導入する。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの作品の鑑賞や講評会を取り入れる。
2年	<p>①美術に対する関心、意欲は高く、集中力のある作業を得意としている。完成から逆算して作業を計画する力を身に付けさせる指導が必要である。</p> <p>②表現したいことと作品との関連する能力を身に付けさせる指導が必要である。</p>	<p>①ワークシートなどを活用し、完成から逆算して自ら作業を組み立てられるように指導する。</p> <p>②作品を並べて鑑賞し、他の生徒からの意見を得るなど客観的な視点を取り入れるよう指導する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙以外の素材の課題を取り入れ、新たな表現方法を提示する。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスごとに互いの作品の鑑賞を取り入れる。
3年	<p>①意欲的に作品制作に取り組むが、見通しをもつ能力や課題の意図を理解する能力を身に付けさせる指導が必要である。</p> <p>②評価のためだけでなく、自己を表現する感性を身に付けさせる指導が必要である。</p>	<p>①ワークシートなどを活用し、完成から逆算して自ら作業を組み立てられるように指導する。</p> <p>②美術作品や過去の生徒作品を提示し、表現の幅や作者の意図を感じとるような指導をする。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品の提示 作業の流れが確認出来る制作カードを導入する。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスごとに互いの作品の鑑賞を取り入れる。

保健体育

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①授業のねらいを理解させて、取り組む姿勢を継続して向上させる必要がある。</p> <p>②技能を向上させるための基礎体力をつけさせる必要がある。</p>	<p>①学習カードを活用し、授業のねらいをわかりやすくし、見通しをもって取り組めるようにする。また、授業後に振り返りをし、次の目標をもたせる。</p> <p>②持久力や筋力を高めるために、毎回の授業始めに補強運動を取り入れる。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本の定着練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能について、基礎から段階的な学習を行い、ゲーム等に発展させていく。
2年	<p>①各種目の運動特性や知識の理解、向上を図り、進んで体を動かそうとする態度を育む。</p> <p>②学んだ知識を基に、自らの課題を把握したり課題の解決方法を考える力を育てる。</p> <p>③自他の技能を比較し、互いの課題を解決する能力を身に付けさせる。</p>	<p>①授業の目的や課題を明確にすることで、運動に取り組みやすくするとともに、自ら運動する意欲の向上につなげていく。</p> <p>②知識を習得できるように、学習カードに学習情報を記載し、1単位時間ごとにポイントをしぼって学習を進める。</p> <p>③ICT機器を積極的に活用し、生徒の関心を深めるとともに、より効果的な活用方法を工夫していく。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本の繰り返し練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能について、基礎から段階的な学習を行い、ゲーム等に発展させていく。
3年	<p>①体力面の改善、向上を図ろうとする意識を高めさせる。また、体の動かし方にも着目し、正しい動作を定着させる。</p> <p>②自他の技能を比較し、互いの課題に気づかせ、解決する能力を身に付けさせる。</p> <p>③運動の楽しさや喜びを味わいながら、知識・技能・体力を高め、向上心や責任感、協調性を身に付けさせる。</p>	<p>①身体の機能向上や走運動や投運動の向上につなげられるような補強運動を積極的に取り入れていく。</p> <p>②ICT機器を積極的に活用し、生徒の関心を深めるとともに、より効果的な活用方法を工夫していく。</p> <p>③グループ活動を積極的に取り入れ、お互いを高め合いながら練習方法を工夫し課題解決へ向けた取組を行う。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本を繰り返し練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中1・中2で高めた技能を基に自らの目標を設定させながら、さらに深めていく。

技術

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	①体験を通して意欲関心と知識理解とが結び付く指導の工夫が必要である。	①実習時において説明を教科書のみならず板書、視覚的資料を活用し具体的に示していく。	【補充学習】 ・作業時の机間指導を丁寧に行い、個別に例示をしたり、考えさせたりする時間を設ける。 【発展学習】 ・設計や作業の仕方を工夫し、他の作品なども例示して振り返りや考える時間を設定する。
2年	①日常使用している電気機器などに関心をもたせ、知識と結び付ける指導が必要である。	①身近な電気機器を例示し、より具体的になるような説明をし、興味・関心を高めるよう指導する。	【補充学習】 ・実習を通して知り得た知識を表現できるようにする。 【発展学習】 ・他の作品なども例示し、振り返りや考える時間を設定する。
3年	①日常使用している機器の仕組みが分かり、保守ができるような指導の工夫が必要である。	①実際の動きを見せたり、視覚的資料を活用したりして関心をもたせ、日常の身近なものとして捉えられるように指導する。	【補充学習】 ・実習を通して知り得た知識を表現できるようにする。 【発展学習】 ・他の作品なども例示し、振り返りや考える時間を設定する。

家庭

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	①生活体験の不足から食品の基礎的知識が低く、補う工夫を要する。	①各栄養素の働きの理解を深め、食品を分類できる教材を用意して、日常生活と関連させるために具体例を挙げて関心を高める。	【発展学習】 ・学習した知識を使って日常の食事を考える時間を設定する。 ・実習を通じて、日常生活でも活用実践できるようにする。
2年	①生活体験の不足から裁縫を苦手とする生徒が多いため、理解しやすく課題を提示する。	①毎時の授業では、目標を明確にし、目的意識を持たせる。	【補充的学習】 授業中に個々に応じた支援を行い、意欲を引き出す。 【発展的学習】 裁縫を得意とする生徒も飽きることなく意欲的に学習に取り組めるように課題に変化を持たせ自信につなげていく。
3年	①基礎的な学習を得意とし、発展的な実習を苦手としているので実技では、粘り強く関わっていく。	①粘り強く声かけを行い、自信を持たせ課題に取り組ませる。	【発展学習】 制作を楽しむ生徒もいるので、工夫の種類を増やし意欲的に学習に取り組ませる。

英語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>① 小学校からの学習の積み上げ・蓄積から、「話すこと」「聞くこと」は身に付きつつあるが、正しく適切な表現を身に付けることが課題である。</p> <p>② 文字使用や単語の習得など書くことでの課題がある。</p> <p>③ 漠然と知っていることを体系的に知識としてまとめて習得することが課題の一つである。</p>	<p>① 平素の授業から音声と文字での表現活動を行い、「話すこと」「聞くこと」から「書くこと」につながる統合的な活動を行うようにする。</p> <p>② タブレットなどを活用して家でも正しい知識が確認できるように工夫する。</p> <p>③ ワークブックや作品、パフォーマンステストなどを通じて発信力を高め、正しい知識や表現が身に付くように見取りと指導を継続する。</p> <p>④ 教科書理解重視、音読強化、内容に応じたジェスチャーやPlus1の付加等、確実な内容理解に基づくプロダクションの機会を設ける。</p>	<p>【補充学習】 家庭学習と授業との関わりをもたせるためにタブレットや課題学習を指導に組み込み知識の定着等を図る。</p> <p>【発展学習】 NHK 基礎英語の聴取、英語の歌利用など英語に触れる機会を授業と家で増やす工夫を図り、より英語に慣れ親しむ時間を増やす働きかけをする。 教科書巻末のLet's Talk や既習Unitでの表現活動など、帯活動として取り入れ表現活動の機会を展開する。 タブレット端末を利用し、単元の課題や疑問に対して主体的に学ぶ態度を育成していく。</p>
2年	<p>① 少人数授業でのコース毎の指導の違いやばらつきはあるが、共通の達成目標に向けて概ね授業にしっかり取り組んでいる。</p> <p>② 知識・技術や聞く、読み取る面で力はついてきていると言える。</p> <p>③ 詳しく聞く、英語でのやりとり、発表、顔を上げて声を出して読むこと等では、生徒の取組に改善の余地がある。</p> <p>④ 気づきや発見を促す指導改善し教えられることを待つ学習態度を主体的に学ぶ姿勢の育成を図る必要がある。</p>	<p>① 教科書内容をよく聞き音読に結びつけることを再度共通の達成目標として共通理解する。次に本文を使った表現を通じて表現活動に発展させる。</p> <p>② 聞く・話す活動や読み取る活動等を帯活動で行い統合的な活動につなげる。</p> <p>③ タブレットを使い音読練習や表現活動などを家庭学習で行い、自ら取組姿勢を育む。</p> <p>④ 家庭学習や授業中での練習や言語活動を適切に評価して教師からのフィードバックを続け学ぶ姿勢を育む。</p>	<p>【補充学習】 タブレット使用を使い課題学習や教科書本文音読練習を継続させ家庭学習を促す。</p> <p>【発展学習】 NHK 基礎英語聴取の勧め、英語の映画や音楽などを通じて幅広く英語に接する機会を工夫して英語に親しむ時間を増やす工夫を働きかける。 教科書本文にセリフを加えて自然な表現ややり取りとなるような工夫を加えることでより豊かな表現活動を促す。</p>
3年	<p>① 自分の考えをもつことはできても、それをある程度のまとまった文にして表現すること、特に書き表すことに課題を感じている生徒が多い。</p> <p>② コミュニケーションや表現の場面において、目線や表情、抑揚などの非言語情報を使う力が十分に身に付いていない。</p>	<p>① 苦手な生徒は教科書の例文を少し変える程度で書くことができ、得意な生徒はオリジナリティを発揮できるような筆記課題を、こまめに家庭学習として課していく。</p> <p>② 帯活動で、伝えたいことを整理して短時間で準備し、ペアなどの少人数で表現する活動を継続的に行い、非言語のコミュニケーション能力を伸ばす支援をしていく。</p>	<p>【補充学習】 タブレットを活用した音読練習や例文作りなどの家庭学習を行う。</p> <p>【発展学習】 学び合いやスローラーナーへの手助けを通じて自身の知識を整理し、更なる自信と向上心をもてるような機会を与える。</p>